

サポネットおごおりでは様々なイベントを開催しています。今年は初企画の工場見学バスハイクや毎年恒例の野球観戦、忘年会など楽しい思い出がいっぱいできました。

8月24日(火) 初企画！工場見学

まずは古賀市にある「日本食品株式会社」でウィンナーやハムが出来る過程を学びました。



昼食は空港近くの「す～さん食堂」でお腹も心も満腹に★
午後は大宰府にある石村萬盛堂大宰府工場へ行きました。



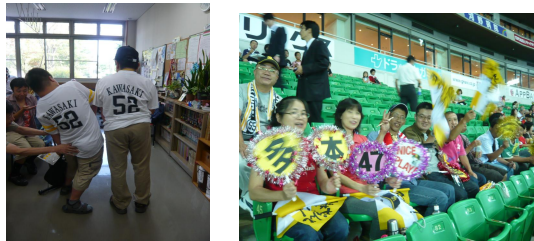
お世話になった皆様、ありがとうございました。

9月19日(日) 野球観戦

チケットを頂きありがとうございました♪

ドイツ証券(株)様

エーオンコンサルティングジャパン(株)様



その他 活動 報告

8月29日(日) 昼食会&レク会

9月25日(土) 昼食会&グランドゴルフ会

10月17日(日) ふれあいオリンピック

10月23日(土) 昼食会&レク会

11月20日(土) 昼食会&レク会

11月28日(日) 忘年会

☆メニュー：冷やしうどん

☆メニュー：棒々鶏

☆メニュー：炒飯

☆メニュー：秋刀魚の蒲焼

活動 予定

12月26日(日) 1年間お疲れ様会

1月30日(日) 昼食会&レク会

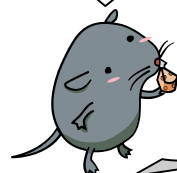
2月 6日(日) ボウリング大会

2月27日(日) 昼食会&レク会

3月27日(日) お花見会

※ 行事参加希望の方は、1週間前までに電話か来所にてお申込み下さい。
※ 参加費がかかる行事(昼食会・ボウリング大会など)の場合、締め切り日以降のキャンセルは、すでに準備(食材調達や景品準備)をしておりますのでキャンセル料を頂きます。ご了承ください。

お願いマウス♪



地域活動支援センター サポネットおごおりのオープンスペースってどんな所？

オープンスペースの一日

9時 開所 …でも8時くらいから来られる人もいます☆…

開所前のオープンスペース



みんなが座るとこんな感じです



何を話しているのかな？



こちらのソファは
勝野様と
松隈産婦人科様
から譲って頂いた
ものです。
大事に使わせてい
たきます☆



売店のほか、近
所にコンビニ
やスーパーも
あります。



12時頃 お昼ごはん…なかには1 1時くらいから食べる人も！…



15時 おやつ…おやつがあるかないかはその日のお楽しみ♪…



UNOやトランプはサポネットの定番♪

みんなで協力して掃除します

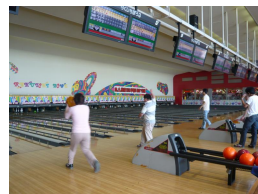


毎月開催の昼食会&レクリエーション会や、
気が向いた時のお散歩会、花だんの手入れなど
他にもいろんなイベントがあります♪

16時40分頃 掃除

17時 終了

(※木曜日は職員会議のため、16時終了)



移送サービス運転手

私たち、6人の侍(?)がお迎えに参ります♪

平成17年の3月にスタートしたサポネットおごりの移送サービスも現在6年目となります。これも会員の皆様のおかげです。運転手も無事故で現在も運行いたしております。



今後も皆様に喜んでいただけるようなサービスを心がけてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

《左から》今村・岡・古賀・寺崎・古賀(き)・肥山

新職員紹介

移送サービス担当として、今村^{ゆたか}寛さんが10月から仲間入りしました。早朝の移送サービスを担当しています。



皆さんこんにちは！
まだ不慣れな部分もありますが、他の職員の方々に教わり勉強しています。笑顔で安全運転を心がけますのでよろしくお願いいたします。

・・・移送サービス利用の流れ・・・

1、電話で予約

はい！サポネット
おごりです。



2、運行スケジュール決定



3、安全運転で出発！

いってきま～す！



ご予約の際は以下の点をお伝えください。

- ① お名前
- ② 日時
- ③ 出発地と目的地
- ④ 待機の有無



- ※ ご利用は登録制です（年会費 1,000 円）
- ※ ご予約の時間帯が他の方と重複している場合は、時間をずらしていただけないかお願いする場合がございます。ご了承ください。

◆団体紹介◆

リレー企画！第3回目はNPO 法人サポネットおごおりと
関係のある2つの団体をご紹介します。



小郡聴力障害者福祉協会 (ろう協)

昭和47年に小郡市身体障害者福祉協会の中
の聴力障害者部会として「ろうあ友の会」を結
成し、その後、昭和52年に「小郡聴力障害者福
祉協会」と名称を改め、現在に至っています。

昭和50年には小郡市で初めての手話講習
会を開催し、それをきっかけに小郡手話の会も
発足しました。以後、ろうあ者の社会参加と平
等のために、手話の会と共に活動を続けていま
す。

★会員数★ 31名

★活動内容★

例会 毎週金曜 19時～21時

// 土曜 10時～11時半

手話奉仕員養成講座(入門課程)

学習会(手話・災害対策など)

宝満川一斉清掃参加

交流会(バーベキュー、クリスマス会他)など

生き生き交流会



バーベキュー交流会



<問い合わせ先>

【代表】池野 英昭

FAX 0942-72-1331



小郡市視覚障害者福祉協会 (盲人協会)

昭和48年に発足。組織としては、全国盲人
福祉協会の福岡県小郡支部。小郡市身体障
害者福祉協会にも加入しています。

★会員数★ 18名

★活動内容★

5月 身体障害者スポーツ大会参加

6月 視覚障害者福祉協会総会開催

6月 身体障害者福祉協会総会参加

9月 福岡県盲人福祉大会参加

盲人福祉大会は、輪番制で毎年県内各地で開催
され、今年は飯塚で行われました。視覚障害者の生
活における課題等の議題を提出し分科会で協議さ
れ、県側へ要望する事項を決議します。今回は、金
融機関での援助や公共機関での点字の標記等を県
へ要望しました。鍼灸・マッサージを開業している会
員は、職業講習会にも参加できます。その他、海の中
道海浜公園で歩行訓練にも参加しています。

11月 身体障害者親睦会のバスハイク
(焼酎工場見学と筑後川温泉)

また、市内の点訳ボランティア「蛍の会」や「小
郡テープの会」との交流会も行っています。
会員の中には、盲導犬と生活されている方が
2名おられます。会員の年齢層が50歳以上
のため、今後は会の存続と活動の充実のため
新しい会員さんを募集中です。いつでも歓
迎しますのでよろしくお願いします。

★会費★ (年間)1500円

<問い合わせ先>

【代表】藤井 善弘

TEL 0942-72-0331

サポネットおごおり

TEL 0942-72-3175



平成 22 年度 寄付者・賛助会員（順不同・敬称略）～皆さまのご支援ありがとうございました～

※個人情報保護のため、ホームページ上には掲載しておりません。ご了承ください



平成 22 年 8 月 21 日～平成 22 年 11 月 30 日現在

福祉用具機器リサイクルしましょ♪ お譲りします & お譲りくださいコーナー

■ 「お譲りします」 用具

① 4 点杖



② 浴槽手すり



③ 自走式車椅子



④ 介助用車椅子



↑ 大きめサイズ

■ 「お譲りください」 用具

① 紙おむつ…テープ式（パンツ型以外） サイズ：成人用 S～L L（いずれも可）

② 簡易車椅子

③ 歩行器（キャスターなしタイプ）

毎回、ご提供のご連絡ありがとうございます。

皆さまの温かいお心をできるだけ多くの方に届けていきたいと思っています。

今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



〈問い合わせ先〉 サポネットおごおり 0942 (72) 3175

☆ あすてらす年末年始休館日のお知らせ ☆

12月28日（火）から1月4日（火）まで

サポネットおごおりは休館となります。大変ご迷惑をおかけいたします。

※ お電話をお受けすることができないため、移送サービスはご予約分のみの運行となります。

但し、1月1日はお休みです。皆様よいお年をお迎え下さい。



あすてらすフェスタ無事終了★ありがとうございました！！

先日10月31日に開催されました、第7回「あすてらすフェスタ」では、サポネットおごおりのリサイクルバザー・作業所販売にご協力いただき誠にありがとうございました。

「サポネットおごおり」を支える会 ねこの手 は、NPO法人サポネットおごおりの『障害者のグループホーム立ち上げ』のため、平成20年8月に発足し、あすてらすフェスタでのバザー出店の収益金を寄付しながら活動を支えてきました。サポネットおごおりでは現在も『グループホーム立ち上げ』を目標としてさまざまな活動を行っておりますが、その活動のひとつである 福祉有償運送事業で使用している車輛の故障が続いており、新車輛の購入が緊急の課題となっております。そのため、今回のあすてらすフェスタで得た売上金は移送サービスの車輛購入費として全額寄付させていただきます。バザー用品を提供していただいた皆さま、設営準備などお手伝いいただいたボランティアの皆さま、また、ご協力いただきました各関係機関の皆さまに心より御礼申し上げます。

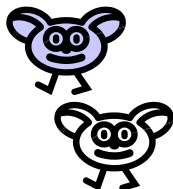


「サポネットおごおり」を支える会 ねこの手 🐾



知って得する情報満載！
知得コーナー

しっとおくん



しっとるちゃん

小郡に新名所誕生！！

11月21日にオープンした『九州歴史資料館(簡保レクセンター跡地)』では、障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は、入館料が無料になります。また、中学生以下・65歳以上の方も無料です。

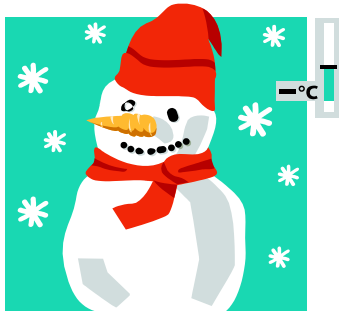
問い合わせ先 九州歴史資料館
☎ 0942-75-9575
アクセス 三国ヶ丘駅から徒歩10分



★お譲りください★

書き損じはがき・年賀はがきの残り

サポネットでは寄付していただいたハガキや切手を郵便局で80円切手に交換し、会報誌の発送に役立てております。毎回ご寄付いただきとても助かっています。ありがとうございます！！



ありがとう



小郡市内在住で田主丸特別支援学校の訪問教育を受けている高等部3年の黒岩博幸さんが、卒業前の最大イベントとして11月3日に行われた学校の文化祭で、小学校の頃からずっと心に温めてきた初恋の人への歌を披露されました。数日前のリハーサルには体調不良で参加されませんでしたが、本番は大成功。フィナーレに彼の歌をみんなで大合唱、バックステージには、当時の小学校の校舎や同級生の映像が映し出され、観客席にはご両親と妹さん、そしてこの日のために招待された初恋の彼女のお母さんが感激の涙を流されていました。（彼女は遠方の大学に行かれているため来られることができなかったためお母さんをお願いしていました。）

彼の歌を受け取った彼女のお母さんは、その日の感動で、いてもたってもいられなくなり、早速翌日に娘さんの所に報告に行かれたそうです。

黒岩くんのお母さんは、わが子のステージを見て感激しましたと言われましたが、その胸の内には、本人が生まれてずっと一時も離れず一緒に過ごしてこられた中で、19歳としての今の息子の想いをやっとわかってあげられた。この子の夢が実現してよかったという感無量の気持ちではなかったかと推察しました。

今回のことは、人の支えがないと家族だけでは実現できなかったことだと思います。

自分の想いを自分で伝えたいという彼の強い想いが周囲を動かし、みんなで彼を応援してきました。そして、その実現はみんなに感動を与えてくれました。終わったあとの彼はとてもさわやかな顔をしていました。これを経験に彼は自分の思いを達成したという自信がつき大きく成長したことでしょう。最終目標である彼女との再会はまだ実現していませんが、そう遠くはないと思います。また、彼の将来の夢は膨らみます。卒業後は、自分の病気である進行性筋ジストロフィーが難病指定になるように患者仲間と一緒に国に働きかけていきたいと考えておられます。

日常的に援助を受けないと生活できない彼ですが、人の心を動かし感動を与えることが出来ました。私は、今回のことで生きる力ってなんだろうと考えさせられました。それは、病気を患っていても障害があろうとも、みんなと同じように普通に生活する中から見出せること、そして自分にできることを伸ばしていくことだと思います。まさしくノーマライゼーション。障害者は出来ないことが多いと思いますが、その人が「何ができるか」そのできることを伸ばしていくことが生きる力につながると思いました。病気や障害のために普通に暮らすことを制限しがちですが、「ふつう」とはいったい何なのでしょう？それをこれからの課題にしたいと思っています。

文責 古賀喜久子

次のページに、文化祭の前日に取材された新聞記事と彼の作った歌の詩を掲載しています。

作詞した黒岩博幸さん(右)と付き添う
母多起枝さん



筋ジストロフィーと闘う黒岩博幸さん

進行性筋ジストロフィーを患う田主丸特別支援学校高等部3年、黒岩博幸さん(19)は「小都市稲吉」が作詞した曲に、同校の音楽教諭が曲を付けた歌「初恋」が3日、同校の文化祭で披露される。小学生時代の初恋をつづった詩。自分で外出ができない毎日の中で、自由に歩き回っていた小学校生活や、当時の同級生とのふれあいの記憶を込め、メロディーに乗せる。

(小郡支局・田中直子)

初恋詩に つづる

田主丸特別支援学校高等部3年

自ら鼓舞、思い出「形」に

《初めて出会った5年生/君が好きで/毎日僕は/学校に行っていた》昨年からは通学が困難になり、自宅で訪問教育を受けている黒岩さん。人工呼吸器も手放せない生活で、「毎日学校に通っていたことが懐かしい」と話す。

詩作のきっかけは昨年の夏。小郡市で開かれた障害児のサマースクールで、初恋の少女の母親がボランティアで参加しており、懐かしさが込み上がったという。

高校卒業を控えた黒岩さんは、病気の進行を自らも感じ、不安になること

音楽教諭が作曲

きょう文化祭で合唱

もある。「将来、恋愛や結婚ができるのかな...」。自分を鼓舞するためにも、小学校時代の小さな恋の思い出を形に残したかったという。

そんな黒岩さんの思いをくみ取り、同校で音楽を教える中島志保教諭(58)が曲をつけ、文化祭での合唱が決まった。黒岩さんは「同じ病気で苦しむ人も励ましたい」と話している。

午前10時半から予定されている同校高等部のステージ演奏で披露される。文化祭は午前9時から開催し、一般にも開放する。同校(0943(73)1537)。

【西日本新聞 平成22年11月3日掲載】

「はっこい」 さくし くろいわ ひろゆき

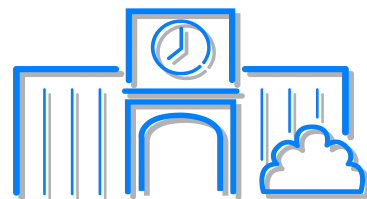
1、はじめて であった 5ねんせい

きみが すきで まいにち ぼくは がっこうにいていた
となりのせきの きみが やさしくペンキようを おしえてくれた。
いまでも たしかに かんしゃしている
スキという きもちは かわらない



2、ぼくが はいった ほけんいいん

きみが りっこうほ してくれて げんきがわいてきた
まじめで かわいいきみと いっしょに がんばれて さいこうだった。
いまでも たしかに かんしゃしている
スキという きもちは かわらない



3、あるひ はじめて しかられて

そんなふうに しかってくれて それが しんせんだった
すなおで しんせつなきみに ますます むちゆうに なってしまった。
いまでも たしかに かんしゃしている
スキという きもちは かわらない



4、クラスできみが わるガキに

チョッカイだされているのに なにもできなかった。
まけずにがんばっていた きみは ぼくのとくべつの まぶしいかのじょ。
いまでも たしかに かんしゃしている
スキという きもちは かわらない